

平成15年12月25日

平成16年8月期 第1四半期の業績等の概況

上場会社名 **株式会社 有線ブロードネットワークス**

(コード番号：4842)

上場取引所(所属部) 大阪証券取引所(ヘラクレス)

本社所在地 東京都千代田区永田町二丁目11番1号

代表者 役職名 代表取締役社長

氏 名 宇野 康 秀

問合せ先 役職名 常務取締役管理本部長

氏 名 佐藤 英 志

T E L (03) - 3509 - 7112

掲載単位：百万円（単位未満切捨て）

1. 業績

(1)平成16年8月期第1四半期（平成15年9月1日～平成15年11月30日）の業績

連結

	16年8月期第1四半期 (当四半期)	対前年同期 増減率 (%)	15年8月期第1四半期 (前年同四半期)	参 考
				前期(通期)
売上高	21,342	5.8	22,667	93,892
営業利益	224	63.3	137	776
経常利益	397	-	107	154

単体

	16年8月期第1四半期 (当四半期)	対前年同期 増減率 (%)	15年8月期第1四半期 (前年同四半期)	参 考
				前期(通期)
売上高	22,147	5.1	23,341	96,105
営業利益	1,898	11.3	1,705	8,634
経常利益	2,090	62.6	1,285	7,666

(2)部門別売上高内訳(連結)

	16年8月期第1四半期 (当四半期)		対前年同期 増減率 (%)	15年8月期第1四半期 (前年同四半期)		参 考 前期(通期)	
	金額	構成比		金額	構成比	金額	構成比
放送事業	16,345	76.6	1.2	16,154	71.3	64,388	68.5
ブロードバンド事業	2,318	10.9	388.9	474	2.1	4,940	5.3
店舗事業(注)	729	3.4	73.0	2,701	11.9	11,475	12.2
カラオケ事業(注)	636	3.0	69.1	2,060	9.1	6,995	7.5
インターネット事業(注)	460	2.1	56.3	1,053	4.6	2,818	3.0
その他事業	853	4.0	281.7	223	1.0	3,273	3.5
合計	21,342	100.0	5.8	22,667	100.0	93,892	100.0

(注) 店舗事業、カラオケ事業、インターネット事業については、前期中に一部営業譲渡を行った為、前年同四半期と比較して売上高等が減少しております。

(3)主な資産・負債の変動について

連 結

(単位：百万円)

項 目	16年8月期第1四半期	増 減 額	前 期 末
(資 産)			
現 金 及 び 預 金	15,325	11,066	26,392
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	7,184	579	6,605
た な 卸 資 産	3,914	604	3,309
前 払 費 用	12,567	4,445	8,121
投 資 有 価 証 券	10,475	5,526	4,948
(負 債)			
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	4,043	1,049	5,093
短 期 借 入 金	1,797	716	2,514
未 払 金	14,662	2,030	12,631
未 払 費 用	3,732	654	4,386
長 期 借 入 金	50,187	2,417	52,604
長 期 未 払 金	8,373	1,636	10,010

単 体

項 目	16年8月期第1四半期	増 減 額	前 期 末
(資 産)			
現 金 及 び 預 金	14,573	10,507	25,081
前 払 費 用	12,293	4,380	7,912
投 資 有 価 証 券	3,535	1,871	1,663
関 係 会 社 株 式	32,489	14,765	17,723
長 期 貸 付 金	936	827	1,763
関 係 会 社 長 期 貸 付 金	8,380	6,900	15,280
(負 債)			
買 掛 金	1,449	524	1,973
短 期 借 入 金	1,797	716	2,514
未 払 金	13,073	2,117	10,956
未 払 費 用	3,569	665	4,234
長 期 借 入 金	50,187	2,417	52,604
長 期 未 払 金	8,373	1,636	10,010

注1：当四半期に係る数値について、公認会計士又は監査法人の監査は受けておりません。

2：金額に消費税等は含まれておりません。

2. 業績の概況

(1) 当四半期の業績全般について

当第1四半期（自平成15年9月1日至平成15年11月30日）における、わが国の情報通信分野に目を向けますと、高速で大容量の通信が可能なブロードバンドサービスは急速に普及してきております。中でも、FTTH（Fiber to the home）サービスの加入者数は、総務省の発表によりますと、平成15年10月末時点で76万件（前年同期62万件増）と、堅調に推移しており、高速通信サービスに対する需要は確実に高まってきていると考えられます。

このような状況の中、当社グループは、中核事業である放送事業においては、前期までに行った事業構造の転換により、安定した収益を生み出せるようになり、さらなる顧客の維持・拡大に努めております。また将来の基幹事業であるブロードバンド事業においては、事業単独での早期黒字化を目指し、顧客の獲得に注力しております。その結果、当第1四半期の業績は、売上高は213億4千2百万円（前年同期比5.8%減）、また、営業利益は2億2千4百万円、経常利益は3億9千7百万円となりました。

各事業別の業績は次のとおりです。

< 放送事業 >

放送事業の売上高は、163億4千5百万円（前年同期比1.2%増）となりました。国内の景気低迷により業務店市場が縮小し、それに伴い顧客の減少傾向が続いておりましたが、新規加入の増加と解約の減少が寄与し、回復基調に転じつつあります。当社では、これら業務店顧客に対し、従来のBGMサービス以外にも、店舗の運営や集客力向上に役立つ様々なサービスを提供することで、付加価値を高める努力をしております。

個人顧客においては、通信衛星によるデジタル音楽放送サービス「SOUND PLANET」のご好評により、ユーザー数は堅調に伸びております。

< ブロードバンド事業 >

当四半期末現在において、当社の提供する光ファイバー・ブロードバンドサービスのユーザーは、契約者数186,715件、取付数111,760件となっており、売上高は23億1千8百万円（前年同期比388.9%増）となりました。当社のブロードバンド事業は、首都圏及び全国の政令指定都市の集合住宅を主なターゲットとしております。新設マンションに対しては、マンションディベロッパーへ付加価値の高いインターネットマンションの企画を提案し、受注に結びつけております。一方、既設マンションに対しては、長年の放送事業を通じて培ったマンションへの入線作業や、入居者や管理組合、建物オーナーから入線承諾を得るための営業活動といった当社グループの競合優位性により、多数の顧客を得ております。今後は、既に入線済みのマンション棟内での加入率を高めることにより、効率よく顧客を獲得できるものと考えております。

法人顧客においては、ITX株式会社との協業により、法人向けブロードバンドサービスの開発・販売会社（株式会社モラネット）を設立しました。また、株式会社フォーバル及びそのグループ会社と連携し、中小法人向け光ファイバー対応IP電話サービス『FTフォン』を開発・販売し、営業チャネルの強化を図っております。

< 店舗事業 >

店舗事業の売上高は、7億2千9百万円（前年同期比73.0%減）となりました。前期末に、直営カラオケボックス『ゆー坊』80店舗の運営業務と資産を関連会社の株式会社ユーズ・ビーエムビーエンタテインメント（以下BMB）及びそのグループ会社へ譲渡したことにより、売上高は、減少しております。当四半期末時点における店舗数は、『アフリカ』『コロニアルリビング』等レストラン系店舗が9店舗、フランチャイズ本部加盟店舗が11店舗となっております。店舗事業は、店舗の運営を通じて得た最終消費者のニーズを、放送事業の顧客である業務店にフィードバックする事を目的に事業を運営しております。

< カラオケ事業 >

カラオケ事業の売上高は6億3千6百万円（前年同期比69.1%減）となりました。当社グループ内におけるカラオケ事業の一元的な管理体制と効率的な運営を実現するため、平成15年6月から8月にかけて、カラオケ機器販売及び楽曲配信事業を、店舗事業と同様にBMBへ営業譲渡致しました。今後、顧客は、カラオケ機器販売や楽曲配信に関しては、BMBと契約を締結することとなりますが、当社も引き続き、カラオケ機器の紹介販売をしていくことにより、顧客の拡大を図っていきます。

< インターネット事業 >

インターネット事業の売上高は、4億6千万円（前年同期比56.3%減）となりました。インターネット事業は、会社収益の柱である放送事業の販売に貢献するという方針のもと、再構築を図っております。具体的には、レンタルサーバー等の各種ASPサービスや、クーポン情報やグルメ情報のwebポータルサイト等を提供しております。

（2）新規事業、新商品について

当社グループは、フォーバルグループと連携し、中小法人の経営体質強化のためのサービスとして、新しいブロードバンド通信サービス『FTフォン』サービスを開発しました。

『FTフォン』サービスは、従来使用している電話番号（03-xxxx-xxxxなど）をそのまま利用できる（一般番号ポータビリティ）光ファイバー対応のIP電話サービスであり、すでに東京、神奈川で2,000社以上の販売、700社以上の導入実績があります。

【サービスの特徴】

- ◆ 顧客においては、初期投資をかけることなく導入可能
- ◆ 高品質な光ファイバーを業界最安値で提供
- ◆ 複数の通話が可能なIP電話とベストエフォート100Mbpsの高速データ通信を併せて提供
- ◆ IP電話は発着信ならびに従来と同じ電話番号での使用が可能（一般番号ポータビリティ）
- ◆ 携帯電話への発番通知が可能
- ◆ 専用のIP電話端末には従来型のビジネスホンを採用

【提供時期】

本年7月から東京・神奈川の一部地域で先行販売を行ってまいりましたが、本年12月より、名古屋、大阪、京都、神戸、福岡、札幌、仙台といった全国の主要都市にも順次提供エリアを拡大し、販売活動を開始しています。

(3) 営業所、店舗等の統廃合及び出退店の状況

< 組織変更 > 平成15年10月31日付

- オペレーション本部コールセンターを廃止
- オペレーション本部リクエストセンターを廃止し同担当業務を関連会社へ移管
- パーソナルマーケット部門ブロードバンド施工管理部をブロードバンドマンション施工管理部に改称

< 組織変更 > 平成15年11月10日付

- 東京中央地区ブロードバンド第一営業部と東京中央地区ブロードバンド第二営業部を統合し、東京中央地区ブロードバンド営業部に改称

< 事業所の統廃合 > 平成15年10月1日付

- 小松支店が金沢支店小松サービスセンターに名称変更

(4) 試験研究活動の状況

該当事項はありません

(5) 発行済株式数および資本金の異動について

平成15年10月16日に「2006年満期円貨建転換社債型新株予約権付社債」を発行し、その転換が進んだ為、また、平成15年11月に第1回新株引受権付社債の権利行使があり、下記のとおり発行済株式数および資本金の変更がありました。

	発行済株式数	資本金
平成15年8月31日現在	1,196,238株	17,957,587,500円
当四半期末現在	1,242,248株	20,395,985,000円
平成15年12月25日現在	1,247,828株	20,459,188,300円

(6) 株式分割について

当社株式の流動性の向上および投資家層の拡大を図ることを目的とし、平成15年10月24日開催の当社取締役会において、株式の分割を行うことを決議致しました。

1. 平成16年1月20日付をもって、次のとおり当社普通株式1株を5株に分割する。

(1) 分割の方法

平成15年11月30日(日曜日)最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載された株主の所有株式数を、1株につき5株の割合をもって分割する。

(2) 分割により増加する株式数

平成15年11月30日(日曜日)最終の発行済株式総数に4を乗じた株式数(4,968,992株)とする。

2 . 日 程

(1) 基準日 平成15年11月30日

(2) 効力発生日 平成16年1月20日

3 . 配当起算日 平成15年9月1日

(7) 役員の変動について

下記のとおり役員の変動を実施しております。

日付	氏名	新役職名	旧役職名
平成15年11月27日付	住谷 猛	取締役、人事総務部長 兼金融事業企画部長、店舗事業部担当	人事総務部長 兼金融事業企画部長
平成15年12月1日付	佐藤 英志	常務取締役、管理本部長 兼経営企画室長兼経理部長兼財務部長	取締役、管理本部長 兼経営企画室長兼経理部長

以 上